

6

自分らしい人生の旅立ちを考える

パート2ーコロナウイルス感染禍を経てー

全5回

私たちは誰でも老い、病み、いつかこの人生から旅立つ時を迎えます。老いが進み、人生最期の日々を過ごす時、私たちはどのような思いで、どのような医療・ケアを受けながら過ごすのでしょうか。コロナ感染禍を経て自分らしい、安らかな人生の旅立ちを支えるのはその人自身の「死生観」とその人にふさわしい「医療と介護」ではないかと思えます。さまざまな人生最終段階の医療（エンドオブライフケア、ホスピスケア、在宅看護、精神看護、家族介護）に関するお話に耳を傾けることは、受講者のお一人お一人がその人自身の死生観を育み、自分らしい人生の旅立ちを考える機会になるかもしれません。

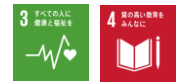
■時間 13:30～15:00

■会場 公立小松大学中央キャンパス

■定員 50名

■受講料 2,500円

■材料費 500円



回	日程	内 容	講 師	キャンパス
1	10・9 (土)	日本における終末期エンドオブライフケアーコロナ禍の中で考えるー	石川県西田幾多郎 記念哲学館館長 浅見 洋	公立小松大学 中央キャンパス 305・306講義室
2	10・30 (土)	終末期と「スピリチュアル」について考える；受け入れること、受けとめること	公立小松大学副学長 横川 善正	
3	12・4 (土)	人生最期の命の輝きを支える在宅看護	公立小松大学 教授 徳田 真由美	こまつ芸術劇場 うらら2階 第2・3会議室
4	12・11 (土)	「最後まで迷って当然??自分らしい人生の旅立ちーおひとりさま・おふたりさま・こどもありさまー」	金城大学教授 彦 聖美	公立小松大学 中央キャンパス 305・306講義室
5	12・18 (土)	人生を自分らしく生き抜くための意思決定 ～自分色の人生のデザインと家族への最後の贈り物～	関西医療大学 准教授 森岡 広美 公立小松大学講師 片山 美穂	